

NPO 法人日本地質汚染審査機構 2021 年度を振り返って

2021 年 1 月 28 日に楡井久初代理事長が急逝し 1 年が経ちました。生涯現役だった楡井先生の後を笠原前理事長が引き継ぎ、5 月の総会までの間、当 NPO を支えて下さいました。6 月からは現在の高嶋理事長にバトンタッチされ、新体制での運営が始まりました。

この 1 年間は 2020 昨年度から続くコロナ禍で、対面でのイベントが困難な状況となりましたが、2021 年秋からは地質汚染診断・浄化研修会とイブニングセミナーを約 1 年ぶりにオンラインで再開させました。オンラインを活用することにより、遠方の方々も研修会やイブニングセミナーに参加出来るようになりました。これを機会に、当 NPO が 20 年間受け継いで来た単元調査法を多くの方々に知って頂き、モットーである「美しい国土の修復」の実現がより加速することを期待します。

<行事報告>

潮来市 『香澄の郷水循環シンポジウム』(2021 年 10 月 17 日誌上開催)

当 NPO では 2021 年 10 月 17 日に潮来市で、島崎城跡や近隣地域での水循環をテーマとした『香澄の郷・水循環シンポジウム』を開催する予定でした。しかし開催予定日数か月前からの新型コロナウイルスデルタ株の急激な感染拡大を受けて、対面でのシンポジウムを中止し、冊子配布による誌上開催に切り替えました。冊子は当 NPO 会員の他、共催団体で潮来市の市民団体である島崎城跡を守る会、潮来市郷土史研究会の各会員の方々に配布し、潮来市（図書館蔵書用）に納本致しました。

潮来市長を訪問 (2021 年 11 月 4 日)



2021 年 11 月 4 日 原潮来市長（写真右）を訪問する
高嶋理事長（写真左）
新型コロナウイルス感染予防のため
ソーシャルディスタンスを取りながら撮影

当 NPO 高嶋理事長が潮来市 原浩道市長を訪問し、誌上開催となった『香澄の郷・水循環シンポジウム』の要旨を説明致しました。また水循環基本法フォローアップ委員会委員でもある高嶋理事長から、「2021 年 6 月に水循環基本法の改正があり、今後は地下水マネジメントを地方自治体などが主体となって取り組んでいくことが求められる」との説明をしました。その上で、自治体主体での地下水マネジメントの例はまだ少なく、手探りの自治体も多いと思われるので、潮来市がそのモデルケースになるよう、当 NPO で水循環シンポジウムや地質調査等を継続していきたいとの意欲を示しました。

原市長も水循環に関心をお持ちであり、市内の河川・湖沼の水質等の環境問題について説明して下さいました。

2020 年 8 月の『大生の七井戸水循環シンポジウム』では地域の湧水の保全を誓った『潮来湧水宣言』が採択された事もあり、今後も潮来市の健全な水循環マネジメントが継続出来る様、当 NPO も応援致します。

島崎城跡現地見学会・討論会を実施（2022年1月16日）

『香澄の郷・水循環シンポジウム』の冊子執筆者を中心に、地質調査に携わった当 NPO 会員有志と島崎城跡を守る会の会員有志の総勢約 20 名で島崎城跡現地見学会・討論会を開催しました。

「島崎城跡を守る会」（守る会）は潮来市の山城「島崎城跡」の整備・保存活動をしている潮来市の市民団体です。この日は 2022 年最初の整備活動の日であり、午前中の場内整備の後、午後の見学会にもご参加下さいました。

参加者は島崎城跡敷地内の地層を観察しながら、冊子執筆者から周辺地域の地質の成り立ちについて説明を受けました。参加した守る会の方々からは「日ごろ自分たちが整備している所の地質を詳しく知ることが出来て良かった」「地質の説明を通して、どのように築城したのか、また、なぜこの地が築城に適していたかが良く分かった」との感想を頂きました。また地元の地形や地質に詳しい方々もおられ、活発な意見交換も出来ました。

2 時間ほど場内の地層観察をし、最後は大井戸跡について「なぜ島崎城には、湧水が湧きにくいはずの台地の中腹で大井戸があったのか」を考察しました。現在は見学者の安全のために大井戸は埋められていますが、冊子執筆者から「10m 近く掘れば、不透水層が存在すると考えられるので湧水が確認出来るかもしれない。」との説明が有りました。一方、守る会から、「大井戸そばの空堀では、1987 年～89 年の発掘調査の際に地表から 1m ほどの深度を掘ると地下水が湧いた」「ある歴史研究家は、現在土の堀であるこの空堀は、かつては水をたたえた水堀だったのではないかとの見解を示している。」との説明を受けました。

『香澄の郷・水循環シンポジウム』を機会に守る会の方々との交流を深め、市民レベルでの水循環マネジメントの啓発に繋がることを期待します。



切岸での説明
硬い砂礫層をどのように切り出したのだろう？



大井戸跡での説明
なぜ台地の中腹で湧水が出たのだろう？